

瑞浪市議会議員定数条例の一部を改正する条例（案）に対する ご意見と市議会の考え方

- ・ 募集期間 令和5年11月10日（金） ～ 令和5年12月8日（金）
- ・ 閲覧件数 199件
- ・ 意見提出人数 5人（内訳 市内 5人 、その他 0人）
- ・ 意見数 5件

いただいたご意見について、適宜要約した上、市議会の考え方について次のとおり公表します。

番号	ご 意 見	市議会の考え方
1	<p>議員定数を議論する前に、如何に議員の質を向上していくかを論じたいと思います。</p> <p>今の議会運営、つまり議会開催時刻では平日の昼ということもあり、議員は日中の仕事と時間帯が被らない人、又は自営業でも代わりのいる人でなければならないと思います。そこで、議会は夜7時から始めたらどうでしょうか。</p> <p>議員報酬についても減額することで、より意欲のある人材が得られるのではないのでしょうか。</p> <p>定数については、議員報酬減額分で賄えるだけの人数を増やすというのが私の意見です。概ね1人増員が適当だと考えます。</p>	<p>議員の質の向上については、ご意見を真摯に受け止め、議員定数に関わらず、議員は常に質の向上を意識し不断の努力を続けてまいります。</p> <p>議会の開催時間帯については、現状における平日の昼間の開催においても、本会議での一般質問や委員会での予算、決算の審査には丸2日間以上を要することがあります。議会の開催時間帯を平日の夜間とするためには、議会運営上の様々な調整が必要となり、現段階では弊害の方が多いと考えます。</p> <p>議員報酬を減額し、その分の議員定数を増員するというご意見につきましては、貴重なご意見として承ります。議員定数や議員報酬につきましては、様々な要因から議論されるべきもので、多種多様なご意見があると承知しております。本市議会では、報酬については議員自らが自らの報酬について議論すべきではなく、第三者機関である特別職報酬等審議会により議論されるべきものと判断しております。また、議員定数については、議会報告会などのご意見を参考に、議員全員で検討した結果、人口減少を大きな要因として削減もやむなしとしたうえで、本会議や委員会における多様性のある議論の妨げにならないよう配慮し、2名の削減をするという意見が多数を占めております。</p>

番号	ご 意 見	市議会の考え方
2	<p>議会、議員の定数を削減することに強く反対します。</p> <p>理由</p> <p>① 地方自治体は、住民の福祉を向上するために憲法にある。それをできているのは選挙で選ばれた議員しかない。</p> <p>② 前回無投票となったが、16名の議員は確保された。無投票でも選ばれたことに変わりはない。</p> <p>③ 議員は、住民のためになっていない。</p> <p>④ 請願権は、議会で発言できない住民の権利である。議会の権利ではない。</p> <p>⑤ 人口や住民の数は女性が多い。瑞浪市議会は女性が増えたがクオータ制を定めると良いと考える。議員の定数を決めることは議会にある。検討会もよいと思うが、まずは16名議員が適切な議会活動を行うことであるとする。</p> <p>⑥ 議員数を減らしても瑞浪市はよくなるまい。</p> <p>⑦ 私が出た議会報告会は「議員定数を減らす」という雰囲気ではなかったと感じています。</p>	<p>ご意見のとおり、議会は、憲法及び地方自治法で定められている合議制の住民代表機関として、地域住民の多様な意見を反映しながら合意形成を進め、団体意思を決定するという重要な役割を担っています。このことは、瑞浪市議会基本条例にも謳っております。一方、現状において、住民に身近であるべき市議会が市民の皆様から十分な理解と関心を得られていないことも承知をしており、住民に身近な活動となるよう不断の努力を続けてまいります。</p> <p>また、本年2月の市議会議員一般選挙では、市の選挙区が一選挙区制となって以降、初めての無投票となりました。無投票であったことにつきましては、議員定数の問題と切り離して考えるべきというご意見もありますが、民主主義の根幹である選挙が行われないという状況は看過できるものではありません。このような背景から、本市議会では議員定数の見直しをすることといたしました。</p> <p>ご意見のとおり、議員定数の削減は、市民の請願権の行使などに支障があることが考えられますし、議論の多様性を損なう可能性があるため、必ずしも好ましいことではありません。しかしながら、本市議会では、議会報告会などのご意見を参考に、議員全員で検討した結果、人口減少を大きな要因として削減もやむなしとしたうえで、本会議や委員会における多様性のある議論の妨げにならないよう配慮し、2名の削減をするという意見が多数を占めております。</p> <p>クオータ制の導入につきましては、わが国での地方議会における導入事例は確認できませんでした。本市議会での導入については、国、県、他市の状況を確認しながら検討してまいります。</p>

番号	ご 意 見	市議会の考え方
3	<p>議員定数削減は拙速に過ぎる。</p> <p>今年の市議選後にわかに定数削減の議論が起こってきたように感じます。それは一部の市民の声を反映していることとは思いますが、もっと広く市民の中に入って、対話を重ねて合意を得ることが必要ではないでしょうか。議員定数削減には反対です。</p> <p>議員の役割とは、本会議や委員会の質疑を経て、瑞浪市の政策の決定に関わっていくことと、執行部の提案する施策について、市民の立場から批判をする、監視をすることです。</p> <p>住民のより広い声を議会に反映するためには、市民のあらゆる階層や年齢層、地域での幅広い対話をして、声を汲み尽くすことが必要となります。そのためには一定の数が必要です。議員が減らされればそれだけ市民の声が市政に反映されなくなります。</p> <p>現在の市会議員さんの活動は私たち市民にはなかなか見えてきません。したがって定数削減の声はある意味当然かもしれません。各議員の猛省を促したいと思います。特に前回の選挙で若い議員さんが沢山できました。市民は若い議員さんには議会に新しい風を吹き込んでほしいと期待したのです。私はある問題で市議会に請願を出しました。その際に事前の根回しとして議員さん一人一人に対してお話をさせていただきました。「私個人としては賛成ですが、会派の決定に従うこととなりますので期待には応えられません」という議員さんが何人も見えました。個人の意思よりも会派の意思が優先する。当選回数が多い議員(長老)の意見に従っているということなのです。</p> <p>議員の皆さんには常に住民の中に飛び込み、対話を重ね、住民全体の福祉向上と地域社会の活力ある発展を目指して努力いただきたいと思います。</p> <p>私は現在の議員定数 16 名は多すぎるとは思いません。</p>	<p>市議会及び個々の議員の役割については、ご意見を真摯に受け止め、不断の努力を続けてまいります。</p> <p>以下は、ご意見 2 の「市議会の考え方」のとおりです。</p>

番号	ご 意 見	市議会の考え方
4	<p>議員定数の削減に反対です。有権者数約 3 万人の瑞浪市に現在の 16 人でも少ないと思います。地方自治体の議員の役割は、住民の福祉向上のために市民の意見を市政に反映させることだと思います。そのためには議員が身近な存在であることが必要です。定数が減れば、議員になれるのは地域の有力者、会社経営者、団体の代表など一部の人に限られてしまい、一般市民からはますます遠い存在になってしまうのではないのでしょうか。</p> <p>今、市政に必要とされているのは議員定数削減ではなく、市政をもっと市民の身近なものにすることだと思います。市長と語る会や各種懇談会への女性の参加率はどのくらいでしょうか。家事育児や仕事に追われる女性が各種会合に参加するのはたいへん困難です。</p> <p>市政が身近に感じられるためには市民の意見が市政に反映される仕組みが大切です。市政や国政が自分たちからは遠いところであり、上の方で勝手に決められてしまい、自分たちはあきらめるしかないと考える人が多くなっているのではないのでしょうか。投票率がどんどん下がっていることや議員に立候補する人が少ないことこそ問題にされるべきだと思います。</p> <p>市政が市民の願いから乖離している顕著な例は、東濃厚生病院の統合です。市民の多くの人が「知らないうちに病院統合が決められてしまった」「東濃厚生病院が無くなったら困るのに、医師が足りないからと上の方で勝手に決められ、いつの間にか既成事実になっている」と言われます。市長は、広報や「市長と語る会」で「病院統合は必要」と一方的に説明してきましたが、市民の中でも交通弱者や老人世帯などの総合病院が遠くなったら通えなくなるという切実な市民や、瑞浪の街が廃ってしまうという市民の多数の声は無視されています。</p> <p>「市長と語る会」等の会合に参加できない市民や、意見募集にも参加が難しい市民の声もくみ上げることが大切です。そのためには多数の市民の声を汲み上げる仕組みが必要だと思います。</p>	<p>ご意見 2 の「市議会の考え方」のとおりです。</p>

今回の定数削減の提案は唐突に出された印象です。市民からそのような要望が多数寄せられているということではなく、一部の人の提案で事が進んでいるのが実態と感じられます。それでも議会の多数決で承認されれば、議会議政主義の建前で決まってしまう現実があります。

市町村合併が、合併に向けた準備が進む中で市民の意見を問う住民投票が行われ、住民の意見に従い中止されました。直接民主主義が機能し多くの住民は自分たちの意見が尊重されたと感じたと思います。たった 16 人の現議員さんの評決で決めてしまうのではなく、民主主義に直結する大切なことは住民投票など市民全体に意見を問うべきだと思います。

病院統合問題で多くの市民と対話し、瑞浪市民の中に市政への失望や無力感が広がっているのを感じます。

瑞浪市を、幸せを実感できる住み続けたい市にする、ひいては人口減少を食い止めるためには、将来の人口減少を理由とした議員定数削減はますます市の衰退を招くものだと思うのも反対の理由です。

番号	ご 意 見	市議会の考え方
5	<p>議員定数削減条例(案)には断固反対です。瑞浪市人口3万人の現在16名でも少なすぎると考えます。我が国の地方自治制度は法令によって定数が決められていると承知しています。</p> <p>本来議員の役割は、住民福祉向上のために市民の意見を市政に反映させることです。その議員を削減すると少数の市民の声を聞かない市政となり、瑞浪市が魅力のない市となって人口減少に拍車をかけることとなります。</p> <p>何故無投票になったのか検証はできていますか？自分が聞き及びますには、ある選挙区において現職議員が実在し、自分も立候補表明するや複数の当選は無理で立候補を断念することになり、自分の市政への望みをたつことになったとのことです。定数削減をすればこの決意・意欲を失わせることになる。市政にとってはマイナスとなります。</p> <p>定数削減ではなく、市政を身近に感じてもらえるような施策が重要と考えます。今後の市政運営を考えると、16名の議員さんで決めるのではなく住民投票で住民の意思を尊重する施策をやっていただきたい。</p>	<p>ご意見2の「市議会の考え方」のとおりです。</p>